

## 課題

### ☆評価

### ☆MEPA-Rの実施、活用 ・個々の課題の把握



ありがとうございました。



### 参考文献

- ・フロスティグのムーブメント教育・療法 理論と実際  
マリアンヌ・フロスティグ著 小林芳文訳 日本文化科学社
- ・ムーブメント教育・療法による発達支援ステップガイド  
MEPA-R実践プログラム  
小林芳文 編 日本文化科学社
- ・発達に遅れがある子どものためのムーブメントプログラム177  
小林芳文 監修・著  
横浜国立大学人間学部附属特別支援学校 編 学研他

## 【実践事例 2】

### 児童がともに学び合う 国語科の授業をめざして



## 1 はじめに

### ○児童の実態

- ・小学部 単一障がい学級 4年生
- ・男子5名
- ・主に会話によるコミュニケーション
- ・教師から友だちへ、かかわりの広がり

➡ 子どもたち同士のコミュニケーションを  
より豊かにしたい。



### ○これまでの国語科授業の実態

- ・個別学習が中心である。
- ・個々のスキル向上を図ることができるが、  
伝え合い学び合う場面が少ない。

➡ 子どもたち同士の学び合いの中で、  
思考力・表現力を高めたい。



### そこで...

☆国語の集団学習を行い、伝え  
合い学び合う学習を重ねること  
で、思考力・表現力を高める。

☆学習で培った力を、日常生活  
のコミュニケーションに活かす。



## ○「ゴーゴーこくご」スタート！

- ・はじめは10～15分程度 徐々に長く
- ・取り組みやすい内容  
(読み聞かせ、しりとり、言葉集め)
- ・友だちと学習することの楽しさ、よさが感じられるように

言葉集め



助詞クイズ



## 2 授業実践「詩の学習」

### 事例①

- ・教材：「あひるのあくび」
- ・単元：全5時間
- ・内容
  - 1) 言葉遊び(しりとり、言葉集め)
  - 2) 詩の音読
  - 3) 学級オリジナルの詩の作成



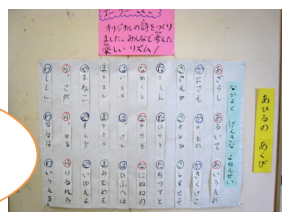
### あひるの あくび

あひるの あくびは あいうえお  
かえるが かけっこ かきくけこ  
さるくん さかだち さしすせそ  
たぬきが たこあげ たちつてと  
なまずが なかよく なにぬねの  
はちさん はらっぱ はひふへほ  
まりちゃん まりつき まみむめも  
やぎさん やまみち やいゆえよ  
らくだで らくらく らりるれろ  
わにさん わなげだ わいうえおん

(まきさちお ぶん)

言葉の面白さや心地  
よいリズムを味わい  
ながら、楽しく音読し  
ました。

自分たちで言葉を  
考え、オリジナルの  
詩を作りました。

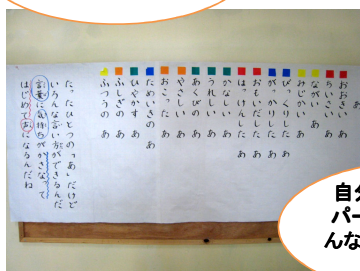


### 事例②

- ・教材：「あ」
- ・単元：全5時間
- ・内容
  - 1) 言葉遊び(しりとり、言葉集め)
  - 2) 詩の音読
  - 3) 音読発表会



それぞれの「あ」の違  
いを、工夫して音読し  
ました。



自分が気に入った  
パートを担当し、み  
んなで音読発表会を  
しました。



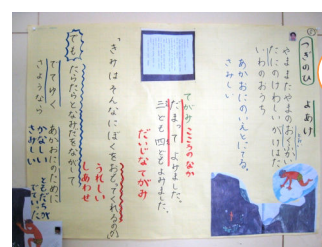
## ○詩の学習をとおして

- (成果)
- ・自分なりに工夫して音読できた。
  - ・友だちの音読を参考にし、自分の音読に活かそうとすることができた。
  - ・お互いのよさを伝え合うことができた。
- (課題)
- ・発問や板書の工夫
  - ・学習の足跡の掲示
  - ・詩以外の教材の開拓

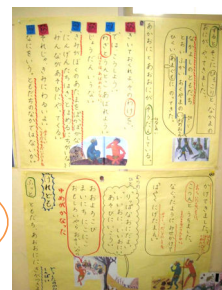


### 3 授業実践「物語文の学習」

- ・教材:「ないたあかおに」(絵本)
- ・単元:全7時間
- ・内容
  - 1)学習場面の読み聞かせ
  - 2)場面ごとの読み取り
  - 3)自分の好きな場面の発表



キーワードとなる記述を根拠にして、心情を考えるよう心がけました。



前時までの学習の足跡を掲示することで、つなげて考える児童もいました。

### ○物語文の学習をととして

(成果)

- ・記述を根拠にしたり動作化をしたりすることで、人物の心情を考えることができた。
- ・友だちの発表を聞いたり、前時の学習とつなげて考えたりすることで、自分の考えを深めることができた。

(課題)

- ・立ち止まり箇所の精選
- ・多様な言語活動を取り入れる工夫



### 4 実践をととして

(成果)

- ・自分の考えを持ち、自分なりに表現することができた。
- ・友だちと学び合う中で、それぞれの児童が自分の力を伸ばすことができた。
- ・集団の高まりが見られた。

(課題)

- ・個別学習とのバランス
- ・系統的な指導



### 【終わりに】

#### ○思いを伝えつながる喜び

人は人の中で育つ

#### ○自分大好き、友だち大好き

自信、役立ち感がしっかり味わえるように  
自己理解、他者理解を深める